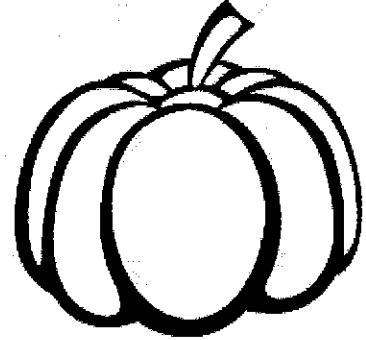


冬至

年末を迎えました。明日は“冬至”。北半球において、1年で最も昼間の時間が短い日です。(ちなみに、明日の長崎の日の出は7時19分、日の入りは17時19分です。また、夏至の日の出は5時13分、日の入りは19時32分でした。)生活習慣においては、「“冬至”にはカボチャ(南瓜)を食べる」と言われています。その理由をさっそく調べてみました。



カボチャの原産地は中南米。もともと暑い国の野菜なので、カボチャは夏から秋に収穫されます。ただ、カットさえしなければ、風通しのいい涼しい場所で2~3カ月保存することが可能です。カボチャは、体内でビタミンAに変わるカロテンや、ビタミンB1、B2、C、E、食物繊維をたっぷり含んだ緑黄色野菜。新鮮な野菜が少なくなる時期、これからの冬を乗り切るためにも、冬至という節目の日にかぼちゃを味わって栄養をつけよう…という先人の知恵なのです。ただ、江戸時代の文献には「冬至にかボチャ」という内容の記述はなく、明治以降に生まれた比較的新しい習慣と考えられています。

New Reader

14日(火)に生徒会役員立会演説会及び選挙が行われ、新しい役員が決定しましたのでお知らせします。

生徒会長・・・立石すみれ(2年1組)
副会長(男子)・・・木下 拓翔(2年1組)
副会長(女子)・・・林田 星那(2年1組)



今年には会長2名、男子副会長2名、女子副会長5名の立候補者があり、応援演説者も含め18名による演説が行われました。どの候補者・応援演説者も堂々と自分の考えを述べてくれましたが、彼らの思いは一つ。「この加津佐中学校をよりよい学校にしたい。」その思いがしっかり伝わる演説でした。これから、書記や専門委員長の選出が行われます。全ての生徒が協力することで、「よりよい加津佐中学校」を創り上げていってほしいと思います。

生徒会黒板のメッセージ

時間には限りがある 有効に使うか 無駄にするかは 使い方次第だ